

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」北長野校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50名	(回答者数) 43名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な専門職(保育士・児童指導員・言語聴覚士)がおり、利用児のニーズや特性に合わせたオーダーメイドでの支援が提供できるように努めている。	・積極的に児童の印象に残った出来事(優先して共有した方がいいこと)を中心にこまめに時間を見つけて連携を図れるよう工夫している。こまめにコミュニケーションが図れる雰囲気を作ることで、支援内容の引継ぎもスムーズに行えるよう意識をしている。	・専門職としての強みをより活かしつつ、情報共有をしながら各職員の資格をお互いに生かした支援の共有をしていけるよう、密に連携を図る。 ・研修に参加する等自己研鑽を重ねていけるよう心がけている。
2	・利用児童の様子、保護者様の要望等に合わせて支援内容の変更をするなど、一人一人の課題に合わせた支援を模索し、柔軟に対応ができるよう心がけている。	・急な要望等に対しても事前に情報が把握できれば、職員間で対応方法の確認をし、空いている職員が変更に必要な教材を作成するなど工夫をして対応している。	・口頭での話だけで終わることの無いよう、会社共有ツールへの共有・報告等も重ねて必要となる為、忘れないようお互いに声をかけ合う。 ・情報共有など基本ルールは決めた上で、その都度状況に合わせた報告、共有方法を柔軟に対応していく。
3	・利用児童の特性やニーズに応じた教材を検討し、作成することができる。	・支援中の出来事や共有事項等、気兼ねなく職員間で伝え合うことで、必要な支援教材を確認できている。また、不足事項や不明点があった際にはそのままにせず、同僚・先輩職員・管理者へ確認することを意識している。	・一人一人に合った支援を心がけながらも、効率よく支援業務ができるようどの利用児にも使用できる共通の教材作りをする等取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援業務を中心としつつも、それ以外の業務(期限のある業務・周知活動・研修・支援者会議・記録作成ほか)も引き続き円滑に実行できるようにする必要がある。	・提出期限、開催期限等のある業務をこまめに把握、確認ができるよう今後も職員間の連携を図る必要がある。	・次月、次週の予定等を会社共有ツールを活用しながら共有をしつつ、口頭でも確認をしながら見直しをもって今後も業務にあたれるように努めていく。
2	・「きらり」で長く勤務している職員や専門職からのアプローチの共有力を高めていく。	・「きらり」での支援の中から得たスキルや専門職からの専門的なアプローチ等々を共有する時間をもってきたが、より深めていく必要を感じている。	・「きらり」での支援の中から得たスキルや専門職からの専門的なアプローチ等々を共有する機会を定期的にもっていく。
3	・支援の質を高めていくために、今後も自己研鑽を積み重ねていく必要がある。	・引き続き保護者様からの要望や、年齢、特性等に応じた支援内容の充実を図る必要がある。	・日々の業務の中で、必要な教材や備品購入、又は会社内部研修を受けることで児童発達支援に必要な自己研鑽など今後も質の高い支援提供に努めていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日

2026年2月14日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」北長野校

利用児童数

50

回収数： 43

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	9	0	2	・仕切りがあり、子どもも周辺が気にならず集中できている。 ・レイアウトが変更されて、同じ時間帯でも他のお子さんがより気にならない空間になっていて良い。 ・新しく整理されていて、身体も動かしたい子どもにとっては静と動の活動が両方でできて良い。 ・今年度に入って模様替えをされてそれぞれ子ども達が落ち着いて過ごせるように、また移動もしやすく更にいい環境に整えてもらえたと感じている。 ・お互いの声が聞こえるのが気になる。保護者と職員の方とのやりとりが子どもに聞かれていいる可能性があるのでは、気を使う。	・ご意見をいただきまして、ありがとうございます。今後も利用するお子様が支援に集中しやすく、そして過ごしやすい支援環境を提供できるよう努めてまいります。 ・保護者様とのフィードバック時間を大切にしながらも、内容によって、利用児童本人に聞こえないよう慎重な対応が求められる際には、家族支援等にて別日でお話を伺えるようご案内をしたいと思っています。ご意見をいただきまして、ありがとうございます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	8	2	1	・とてもよく見ていただけて不満は無いが、先生方が人数ギリギリでお休みもなく対応いただいているようで見ていて心配になる。職員数が少ない時もあったが、支援の時間はしっかり見てもらえているし、支援会議にも参加していただけて助かる。	・職員配置の関係で、ご利用者様にはご心配をおかけした時期もございました。昨年10月・12月と新たに職員が1名ずつ増えました。今後も職員数の安定を図りながら安心・安全に支援提供ができるよう努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38	4	0	1	・ブースごとの区切りは、もう少しあったほうが良い。 ・子どもはどこに何があるかわかっていてとても過ごしやすと思う。 ・仕切りがあり、個別の空間ができていて子どもも話しやすい。	・個別の空間での落ち着いた支援が提供できるよう、今後も一人一人に合わせた支援環境の提供に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	39	3	0	1	・東側のスペースは照明が暗い。 ・室温や湿度、換気調整されており、過ごしやすい。 ・トイレが部屋とドア1つで遮られているので、音が気になる。	・ご意見をいただきまして、ありがとうございます。照明が暗い箇所につきましては、照明を増やす等対応を検討いたします。
	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39	4	0	0	・進路など将来に向けての対策も支援がほしい。 ・子どもの話を聞いていただき、課題を指導していただいている。 ・親の願いも聞きながら、スモールステップで取り組んで頂いている。 ・子どもを楽しませながら特性に応じた支援をして頂いている。 ・子ども自身が受け入れてもらえていると感じている。 ・子どもの成長に合わせて支援の内容も発展したものに対応いただいている大変助かっている。支援会議で相談した内容にしっかり向き合ってくれ、具体的な改善案をアドバイスしてくれる。	・ご意見をいただきまして、ありがとうございます。今後も将来に向けて、今はどんな支援が必要なのか、お子様本人の気持ちを確認したり、保護者様へのご提案やご要望を伺う等、対応をしてまいりたいと思います。もし気づくことがございましたら、職員へお伝えください。

適切な支援の提供

6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	2	0	4	・個別の要望に応じてもらっている。	・今後もきらりでの強みを生かしながら、支援を提供してまいります。
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	41	1	0	1	・個別支援計画作成時には、家庭からの要望等、配慮していただいている。 ・とてもよく聞き取りをしていただいております、子どもの得意不得意を踏まえた上で私たち両親の希望や学力の向上をまとめていただけてとても満足しています。 ・毎回保護者の希望等も丁寧に確認いただいております。	・児発管不在により既存利用者様は2025年10月より個別支援計画の再作成をいたしました。今後もお子様の成長のサポートができるよう個別支援計画を作成し現場での支援に生かしてまいります。
8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	3	0	6	・要望は次回の支援に必ず反映していただいている。	・今後もお子様の様子を踏まえ、要望やニーズを支援に取り入れていけるように努めてまいります。
9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	0	0	1		
10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	8	0	2	・毎月のきらりひろばは子供が楽しみにしている。 ・毎回子どもに合わせて支援していただいている。 ・いつも似たような活動内容で代わり映えがない。 ・子どもが安心して行える範囲で、その日に合った支援内容を取捨選択できるようになっていていいと思う。	・今後も利用するお子様が興味のあることや、強みを生かして意欲的に支援に取り組めるよう工夫をしていきたいと思います。 ・ご意見をいただきまして、ありがとうございます。お子様によつてはルーティンとして同じ支援内容を基本とすることで安心して取り組めたり、力を継続して発揮できたりする場合もございます。今後もお子様の様子、保護者様のご要望やご意見を踏まえた上で支援を行ってまいりますので、もし気づくことがございましたら、ぜひ職員へお伝えください。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	6	18	10	・交流は学校でできているため、そこまで必要ない。 ・個別支援では、そこまでは望まない。 ・交流は望んでいないのでわからない。	・ご意見をいただきまして、ありがとうございます。現在プライバシーの観点や保護者様のニーズ等も踏まえた上で、交流は行っておりません。今後も利用する方のニーズや、地域情勢等踏まえ対応をしていきたいと思います。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	1	0	2	・とても丁寧に親切に教えてもらった。	・今後も丁寧でわかりやすい説明を心がけていきたいと思います。ありがとうございます。
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42	1	0	0	・毎回、きちんと一つずつ説明いただいております。	・放課後等デイサービス計画を示しながら、今後も保護者様へご理解・ご納得いただいた上で支援の提供に努めてまいります。ありがとうございます。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	7	4	12	・保護者が参加できる講演会など、以前よりも少なくなりましたため、機会があれば参加したい。 ・情報提供はいただいておりますが、プログラム・研修とかは聞いた事が無い。	・ご意見をいただきまして、ありがとうございます。保護者様もご参加いただける講演会や研修会等ある場合は、ご案内をしていきたいと思います。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	38	5	0	0	・支援中の様子を毎回丁寧に伝えいただき、こちらからも聞いて頂きたい事はよく聞いてもらっている。 ・お願いや要望等も、他の先生との情報共有していただいております支援にも即反映されているので、ありがたい。 ・毎回、お迎え時に今日したことや子どもの気持ちなどを報告してもらっている。わかりやすい。	・ご意見をいただきましてありがとうございます。今後も保護者様のご要望、ご意向、そしてお子様の様子を踏まえ、必要な支援と一緒に考え、取り組んでいきたいと思います。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	5	2	2	・子育てに関する助言等は、特にこちらから聞いたことは無い。	・今後も支援後のフィードバック対応や計画更新の面談だけでなく、お悩みやお困りごと等のご相談時にはその都度相談対応をまいりますので、お気軽にお声がけ下さい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	1	0	0	・職員の方のタイプはそれぞれ違うが、子どもにはとても合っている。子どもの好み等も細かく聞いていただき興味をもって取り組めるよう支援していただいている。 ・たくさん話をされると子どもは苦手と思うようです。問題の答えを言うときは、子どもに確認してから言ってもらいます。	・今後も職員それぞれの専門性を十分に発揮しながら支援ができるよう、努めてまいります。 ・貴重なご意見ありがとうございます。お子様の性格や特性、その日の心身の状態を確認しつつ支援ができるよう、職員間での連携を図っていききたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	11	6	16	・以前はあったようだが、最近はない。 ・保護者会を開催して頂けると助かる。	・保護者様の都合のつく日に開催ができるよう検討し、日頃の悩みや困りごとを共有できる時間がとれればと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	3	0	7	・よく対応いただけていると感じる。 ・何かあれば毎回の支援の後に相談しているが、いつでも聞いていただける体制は整っていると思う。	・保護者様のお気持ちや状況を伺いながら、可能な限り当日の対応ができるよう心がけていきます。難しい場合でも保護者様の都合をご確認しながら、後日対応をさせていただきます。
	20	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	2	0	2	・ラインなどで情報共有されていて良い。	・今後も個別LINEや全体配信等、必要な情報の共有ができるよう努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31	3	0	9	・ラインで報告を受けるのでわかりやすく、とても便利だと感じる。 ・他のお子さんの活動や制作、拝見させていただいている。 ・イベント案内やInstagramで、子ども達の作品や活動報告等よく発信してもらっている。	・行事、防災訓練については、それぞれ月に一度発信をさせていただいております。その他必要な発信もSNS、おたより、LINE等今後も発信ができるよう努めたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	2	0	0	・インスタへの写真投稿の際、個人が特定されないように確認した上で、あげてくれていて安心した。	・今後も個人情報保護に努め、安心して利用いただけるよう努めたいと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	1	0	6	・検温しっかりやっている。必ず告知を丁寧に説明して頂いている。	・今後もお子様の体調変化に迅速に気づいて対応ができるようしつつ感染予防、まん延防止に努めていきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	1	0	9	・訓練はやっているのか知らない。 ・参加できた事は無いが、しっかりされてる様子。	・月1回避難訓練を実施しております。出入口付近にポスターを掲示しておりますので、掲示箇所がわかりやすい工夫をしたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	1	0	5	・怪我しないように配慮していただいている。	・引き続き安全計画周知をし、安心、安全な支援環境に努めていきたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1	0	8	・事故や怪我等はなく、安全に利用させてもらっている。	・現在までに大きな事故・怪我等はございませんが、引き続きヒヤリハット内容の共有や、安全に留意した支援内容の確認をしていきたいと思います。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	43	0	0	0	・3年以上通っているのが通いやすい何よりの証拠だと思う。嫌がらず通っている。 ・子どもが支援員の皆様が優しいと言っている。一対一で適切に対応してくださるのでとても安心している。 ・支援内容が分かりやすいので、安心している。 ・感染症の時期以外は、先生たちがマスクをしていなければ、もっといいと思う。表情がずっと分からず残念です。	・今後も末永くご利用いただけるよう、お子様・保護者様に寄り添った対応・支援に努めたいと思います。 ・ご意見をいただきまして、ありがとうございます。福祉サービスを提供する事業所として、感染予防の観点からマスク着用を継続しております。ご迷惑をおかけいたしますが、今後ともご理解、ご協力の程をお願いいたします。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	11	0	0	・本人のやりたい事を取り入れてもらえて満足して帰宅している。 ・とても楽しみにしていて、きらりに絶対に行きたいから学校へ頑張って行っている。 ・最近は、きらりを利用することに気が向かないときもある。 ・子どもの話をしっかり聞いてくださる。会話のやりとりが得意ではなかったで、とても良い変化だと思う。	・今後もお子様が楽しみながら自分の力をのばし、保護者様が安心してきらりに通わせていただけるように職員一同、支援を行っていききたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	38	3	0	2	・自分の好きなことを一緒に共有してくれてありがたい。 ・きらりを卒業した後の事などもう少し子どもの先の話もしていきたい。 ・子ども自身が大人と適度な距離感で、甘えすぎたり、諦めて閉ざしたりすることがなく、やりたいことに取り組めるようになってきたように感じている。 ・先生がとても丁寧に子どもの話を聞いてくださっているの、きらりは安心してお願いできる。 ・いつも子どもへの細かい配慮に感謝している。	・今後もお子様が楽しみながら自分の力をのばし、保護者様が安心してきらりに通わせていただけるように職員一同、支援を行っていききたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」北長野校		2026 年 2 月 14 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・配置変更をし、広いスペースを確保し適切な支援環境が保たれるよう配慮している。	・支援室の備品がだいぶ増えてきたため 整理をし、今後も過ごしやすい環境設定に努める。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・個別での支援環境を適切に提供ができるよう、職員配置に配慮をしている。	・今後も指定基準を順守し、職員配置をしていけるよう努める。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・配置変更をし、広いスペースを確保し適切な支援環境が保たれるよう配慮している。	・事業所を出るとすぐ道路があるため、来退所時、有事の際は今後も職員間で連携を図れるようにしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・静かなところで集中したいお子様、体を動かしたいお子様などそれぞれ異なるため、必要に応じてパーテーションで区切りたり机を 壁向きにし刺激を少なくする等、環境設定の工夫をしている。	・今後も適切な支援環境の提供に努め、感染症予防という観点でも消毒や換気等も継続して行えるようにしていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・パーテーションを追加購入し、より個別での対応がしやすいよう配慮している。	・今後も利用する児童の特性に合わせて支援スペースの調整を行っていけるようにする。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・毎日の朝礼や夕礼時や、週1回定期ミーティングを開催し、業務改善に努めている。	・今後も広く参画できるよう、職員間での定期的なミーティングを図る。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年1回保護者様にご協力をいただき業務改善に努めている。	・利用者様にさらにご満足いただけるよう、ご意見をいただいた際は適宜改善に努めていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日の朝礼や夕礼時や、週1回定期ミーティングを開催し、業務改善に努めている。	・朝礼、夕礼時や週1回の定期ミーティングだけでなく、必要に応じてその都度業務に対する課題や改善に繋げられる機会を、今後も継続していく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は行われていない。	・第三者評価は行っていないが、適宜行政に監査をいただきながら、今後も健全な業務や運営、改善に繋げていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・行政主催及び会社内の研修参加の機会を確保し、定期的に受講をしている。	・今後もすべての職員が継続的に研修参加していけるよう努める。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・個別支援計画をもとに、現状のニーズを踏まえながら職員間で検討、連携を図り対応をしている。	・前回の支援内容を引き継ぎ、次回に生かしていけるよう今後も情報共有や必要な 検討を図っていく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・個別支援計画更新の際にアセスメントをとったり、ニーズや課題に対する支援内容を保護者様と確認をしたりしている。	・保護者様の意向と、実際のお子様の様子に合わせた支援が行えるよう、今後も十分な検討を重ねながら作成をしていく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・個別支援計画作成にあたり職員間で検討会議を開き、共通理解をしつつこども最善の利益を考慮した検討を行っている。	・児発管不在が続いたため、2025年10月より再度個別支援計画の再作成をした。今後もこどもの最善の利益を考慮した検討を図っていく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員間で支援計画の検討会議を行い、共通認識を持って支援を行うことができていると感じる。	・変更点や重要な部分が共通理解しやすいよう付箋を貼るなど、今後もわかりやすい計画作成に努める。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	・会社統一のアセスメントシートを基本に、関係機関や家庭、支援時の様子を共有しながら確認している。	・今後も適応行動の状況確認に努めたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域に沿って利用児童の長所、課題等や現在の進捗状況等踏まえ、支援項目を設定できるよう努めている。	・今後もご希望や状況に応じて家族支援や移行支援、地域支援・地域連携が図れるよう努めていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・週に1回事業所内会議を開催し、その都度活動プログラムの変更内容の検討、確認をしている。	・公休、有休職員もいるため、今後も情報共有、検討をごまめに開催できるよう努める。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・ご要望があった内容や事業所内で検討し取り入れていく内容（保護者には説明を行う）に関しては、継続的に取り組んでいる。児童の様子によって臨機応変に支援内容に変化をつけている。	・固定化しないよう、状況に応じてプログラムを変え 配慮に努めているが、お子様の特性上、大きくプログラム変更が難しいお子様もいる。年齢によってはお子様自身に確認し主体性をもって取り組めるプログラム作りを今後も心がける。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別、集団とともに共通する支援内容を項目として支援ができるよう工夫している。	・今後も個別の力が集団の中でも十分に発揮していけるよう努めていく。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼にて一日の支援、業務予定を確認し特記事項についてはその都度共有、連携を図っている。	・当日朝、前日にしっかり打ち合わせや準備を行うことで、今後もスムーズに取り組めるようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・夕礼にて一日の情報共有事項を確認。公休職員もいるため、情報共有ツール内で再度情報共有できるように工夫をしている。	・朝礼時からの変更内容を今後も口頭だけでなく、情報共有ツール内でも確認できるよう努める。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援の様子や保護者様へのフィードバック対応の内容等、会社共有ツールへ記録をしている。	・文章は支援内容の記録だけではなく、支援の引継ぎとしても大事な情報となるため、職員が見やすく且つ必要な要点がまとめることができるよう、今後も工夫を図っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・個別支援計画更新の際は必ずモニタリングを行い、適切な見直しに努めている。	・計画期間（6ヵ月）ごとにモニタリングを通して面談を行い、達成度と課題を導き出し、新たな目標とともに個別支援計画を作成している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		・4つの基本活動を念頭に支援計画作成、検討を行っている。	・「地域交流の活動」に関しては、支援形態の特性上難しい部分があるため、今後の課題。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・利用児童の当日の様子を把握しながら取り組みやすい支援内容や、得意とする支援方法等選択できるように配慮している。	・今後も利用児童が自分で選択する力をのばしつつ、必要な課題に取り組んでいけるよう努める。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・会議に出席する職員は、必ず全体で会議報告内容を事前に検討をした上で出席できるように工夫している。	・今後も利用児童への理解を深め、共有し、どの職員でも対応ができるようにしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・支援者会議の要請があれば基本的には出席をし、予定が合わない場合は文書参加にて共有ができるよう工夫している。	・今後も各関係機関との連携を図り、支援体制を整えていけるよう努める。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校との支援者会議および利用者様を通じて年間計画や行事予定、下校時刻の確認等を行っている。	・今後も利用児童の在籍する学校の年間計画、下校時刻確認等を図っていき、ご家庭との連携が図りやすいようにしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・支援者会議、関係者会議にて情報共有、相互理解に努めている。	・今後も保護者様、関係者間での要請があれば積極的に参加をしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・現在障害福祉サービス事業所等へ移行した利用児は該当無し。	・今後該当することがあった場合には保護者様同意のもと、情報提供ができるよう努める。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・地域の児童発達支援センターと連携を図り、研修機会を設けている。	・今後も積極的に内部以外の研修に参加し学んでいけるよう機会を確保する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・ニーズもなく現段階では予定無いが、検討をしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・昨年度より充足。開催される際には出席できるように努めている。	・年に一度とはなるが、今後も積極的に出席ができるよう努める。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎回の支援でフィードバックを行い、児童ののびて来た力やもう少し取り組みを継続していくものなど、その都度保護者様へ伝えることができるよう努めている。	・保護者様とはフィードバック時に、毎回様子や課題について伺っているが、家族支援等状況によってはこちらからご案内ができるようにする。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・小集団活動の際に保護者様に早めに来所いただき、お子様の様子を参観いただきながら保護者様同士交流が図れる場を設定できるよう工夫した。	・保護者様より交流については望み声があるため、今後も交流の在り方を検討していけるようにする。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・面談や契約時、その他必要に応じて説明を丁寧にできるように心がけている。	・今後も丁寧な説明を心がけ、保護者様から質問があった際はその都度回答ができるよう努める。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリングやアセスメント、日々のフィードバック等、児童の様子をご家族と確認し、共通認識をもち計画作成ができるよう努めている。	・今後も利用するお子様、保護者様の意思を尊重しながら適切なサービス提供に努めたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・新規、更新計画ともに保護者様へ放課後等デイサービス計画を確認いただきながら説明、同意を得られるよう努めている。	・計画と一緒に確認し、どんな内容で取り組むのか、内容によってどんな所の力を伸ばしていくのかお伝えができるよう配慮している。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・当日相談のある方は、事務室にてお話を伺いながら状況を伺うなど相談対応に努めている。	・必要に応じて家族支援等対応を継続していけるようにしたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・小集団活動では兄弟同士で参加ができる機会も状況に応じて設けられるよう工夫をしている。	・保護者様より交流については望み声があるため、今後も継続した交流方法を検討していけるようにする。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった際には必ず状況を確認し誠実に対応できるように努めている。	・今後も適切な支援の提供を目指すとともに苦情があった場合には誠実な対応を心がける。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月開催される防災訓練、小集団活動「きらりひろば」など事業所内への掲示及び保護者様へLINEにてご案内をする等、情報発信に努めている。	・LINEや掲示のほかにブログ、インスタ等のSNSへの投稿の継続にも努めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付き書庫での個人情報の保管、事業所外に個人情報を持ち出さない等、十分留意をしている。	・今後も個人情報の扱いについては慎重かつ厳重に対応をする。

非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚支援やわかりやすい伝え方等、一人一人に合わせた配慮に努めている。	・今後も適切な支援の提供に努める。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・地域の方をイベントに招待する機会は作っていないが、今後もし行うとなった場合、プライバシーや安全面など慎重に検討する必要があると感じる。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・毎月定期的に発生を想定した訓練を行い、有事の際の対応を事業所全体で確認に努めている。	・いつ発生するかわからないため、今後も緊急時に備えられるよう訓練の継続を図り、その都度改善をしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月定期的に発生を想定した訓練を行い、有事の際の対応を事業所全体で確認に努めている。	・いつだれがその役割になっても対応ができるよう、訓練の継続を図る。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時にアレルギーや持病等について確認をしている。	・今後も契約児童が増えるごと、都度更新を徹底していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				・食事提供を行っていないため、非該当。送迎の際、利用児兄弟等から飲食の流入の可能性もある為、事前にアレルギーなどがあるか保護者に確認を行い、一覧にしてすぐに確認ができるように対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画をもとに必要な研修や訓練をしている。	・安全点検表を作成し、支援備品等の安全確認等、より意識をもって取り組めるようにしていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・緊急連絡先や対応の流れ等、周知を心がけている。	・見やすい場所へ掲示をするなど、送迎の際にも確認いただけるよう努める。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例があった際は必ず職員間での情報共有を早急にし、再発防止に努めている。	・今後も定期的なヒヤリハット事例報告書を作成し、再発防止に努めていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・本部主導の虐待防止、身体拘束含めた法定研修への出席、長野県内事業所での研修定期開催をする等、適切な対応に努めている。	・虐待防止委員会が設置されており、年間計画で虐待防止研修・身体拘束防止研修・権利擁護研修を実施している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			・必要を感じた時には社内マニュアルと委員会の下、事業所内で検討会を開き、必要と判断した時には保護者様へ丁寧に説明し、合意を得て（身体拘束に係る同意書）実施と記録を行うようになっているため、今後も徹底していく。